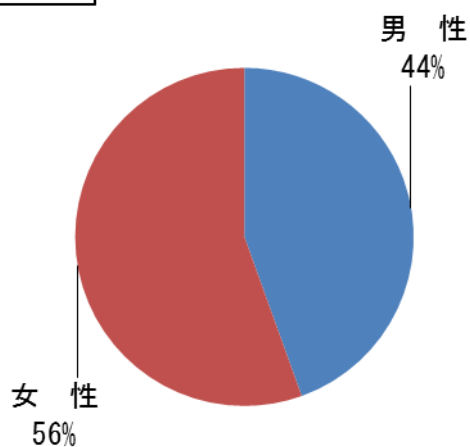
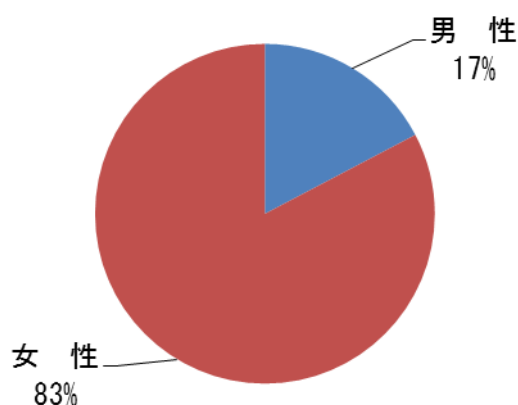


## 問1 あなたの性別について

郵送



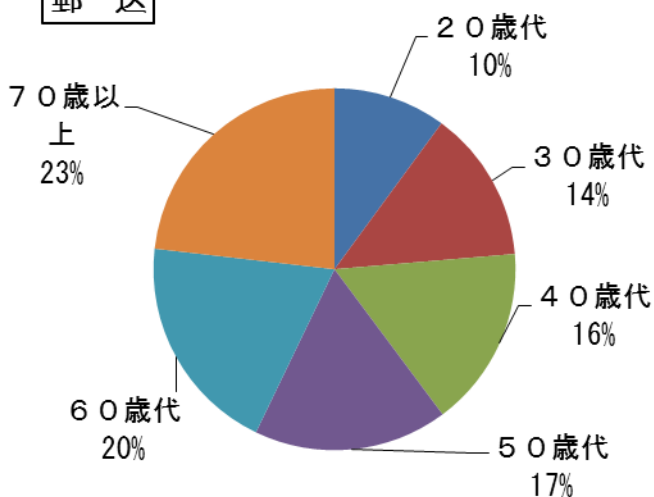
公民館等利用者



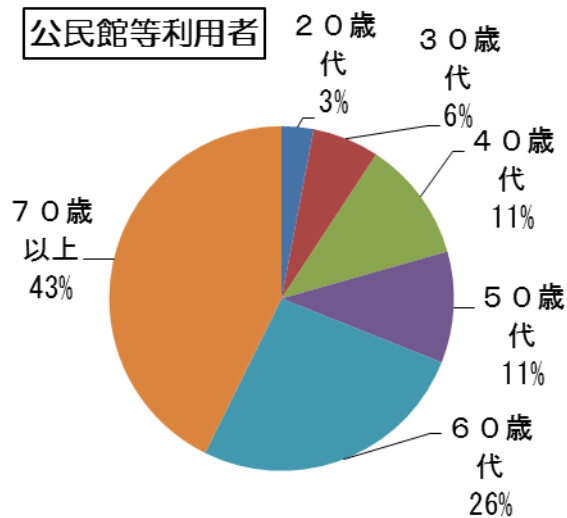
今回の調査の回答者は、郵送では、女性56%、男性44%、公民館等利用者では女性83%、男性17%であり、郵送・公民館等利用者とも女性の割合が過半数を超えている。

## 問2 あなたの年齢について

郵送



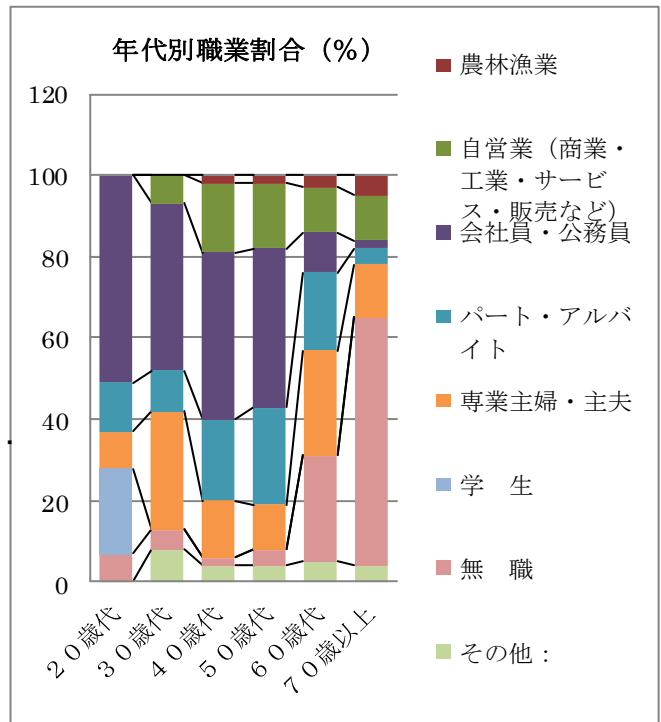
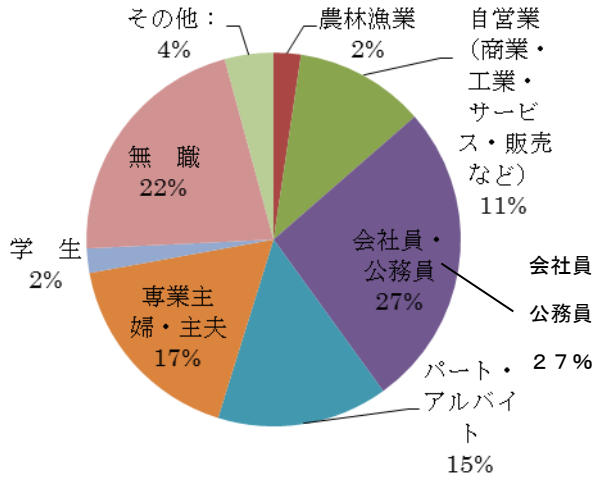
公民館等利用者



年齢については、70歳以上の割合が最も高く、次いで60歳代、50歳代の順である。年齢が高くなればなるほど、回答者数が多い。特に、公民館等利用者の70歳以上の割合は、43%とほぼ半数である。

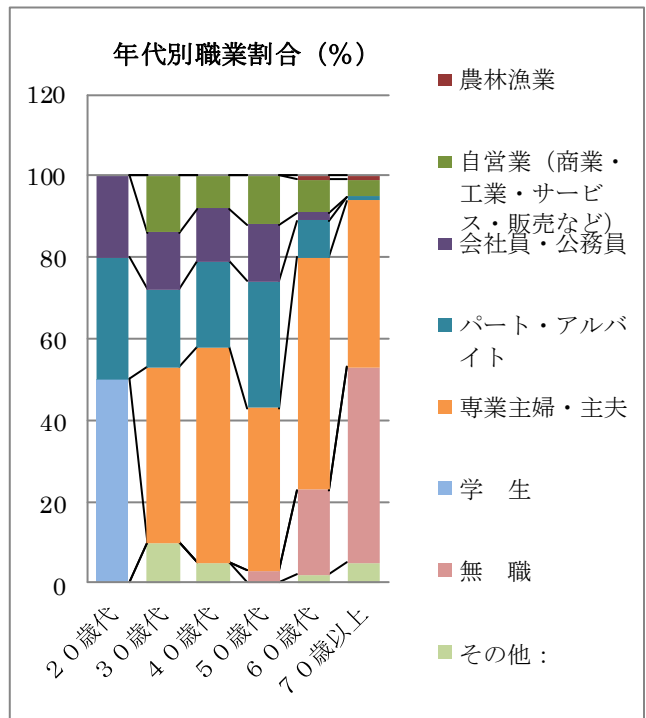
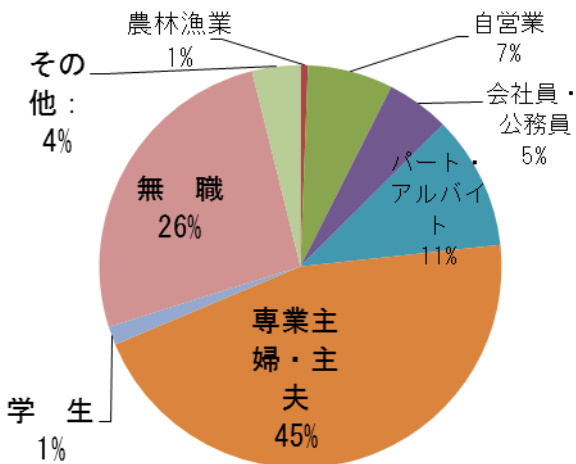
### 問3 あなたの職業について

#### 郵送



郵送による回答は、会社員・公務員が27%と最も多く、次いで、無職22%、専業主婦・主夫17%の順である。対して、公民館等利用者は、専業主婦・主夫が45%、無職26%であり、この2職種での合計が70%を超えている。

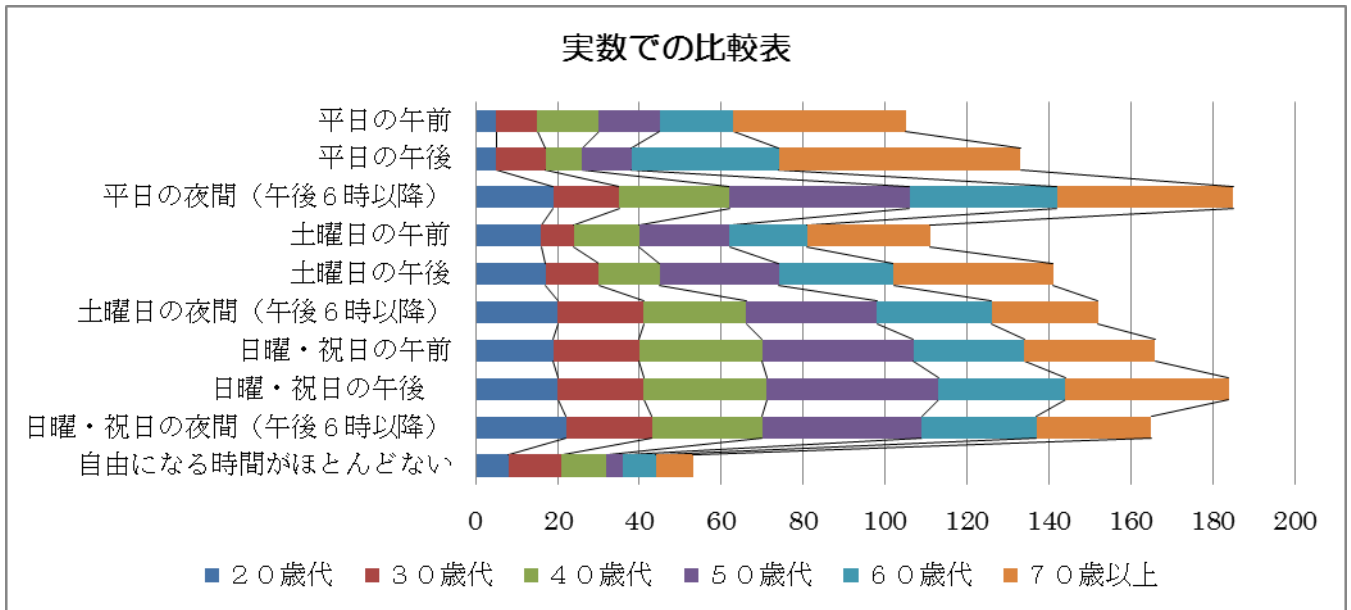
#### 公民館等利用者



その他 (具体的に) 会社役員 医師 保育士  
 公益財団法人職員 授産施設通所 看護師  
 団体職員 顧問 介護職 賃貸住宅業  
 フリーの講師 華道師範 嘱託職員 専従者

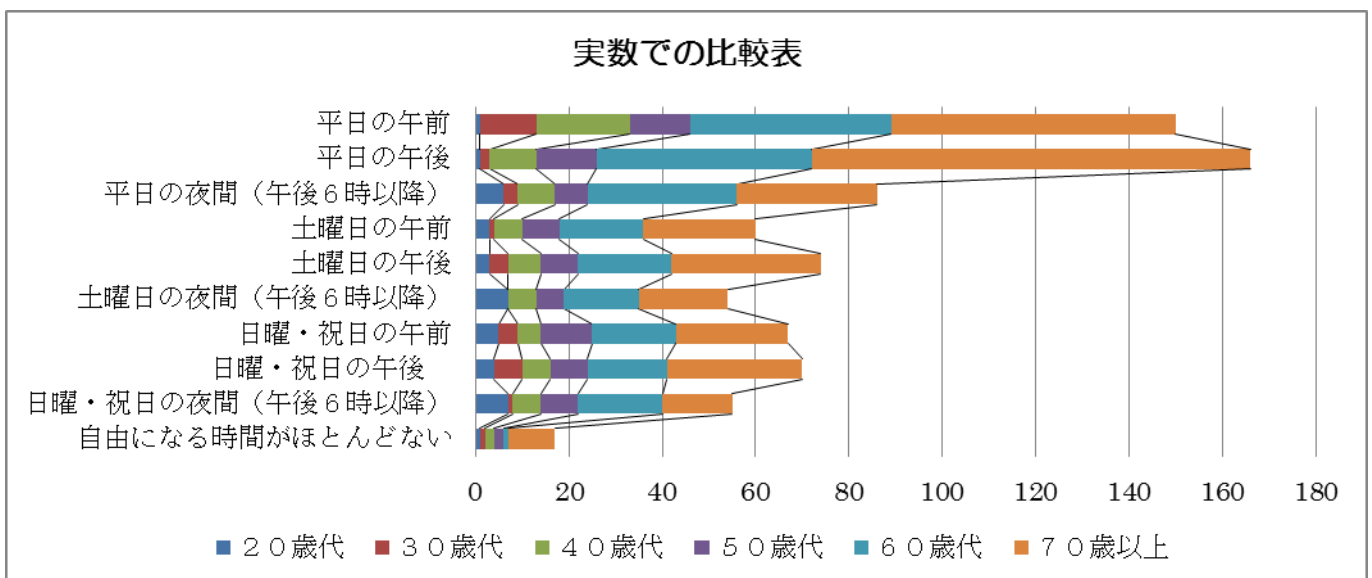
#### 問4 あなたが、自由になる時間帯はいつですか。

##### 郵送



郵送での回答で多いのは、「平日の夜間（午後6時以降）」が185人、「日曜・祝日の午後」が184人。公民館等利用者では、「平日の午後」が166人、「平日の午前」が150人である。郵送と公民館等利用者の職業構成とを照らし合わせると、有職者の利用を取り込むためには、夜間の事業実施を検討する必要がある。

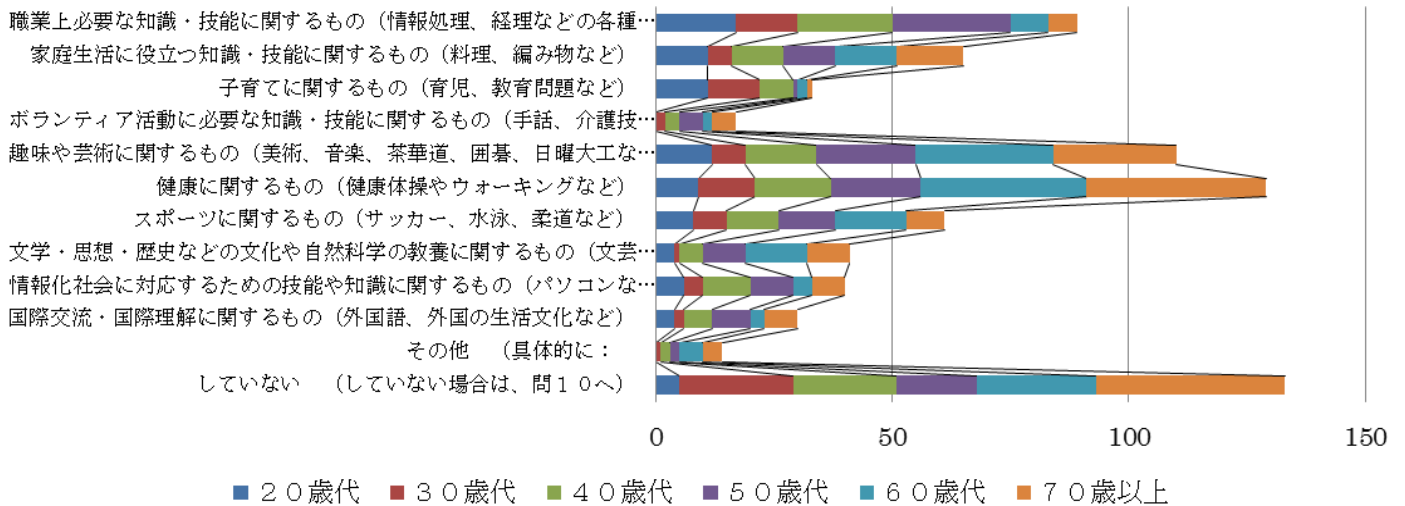
##### 公民館等利用者



## 問5 あなたは、現在どのような生涯学習活動を行っていますか。

### 郵送

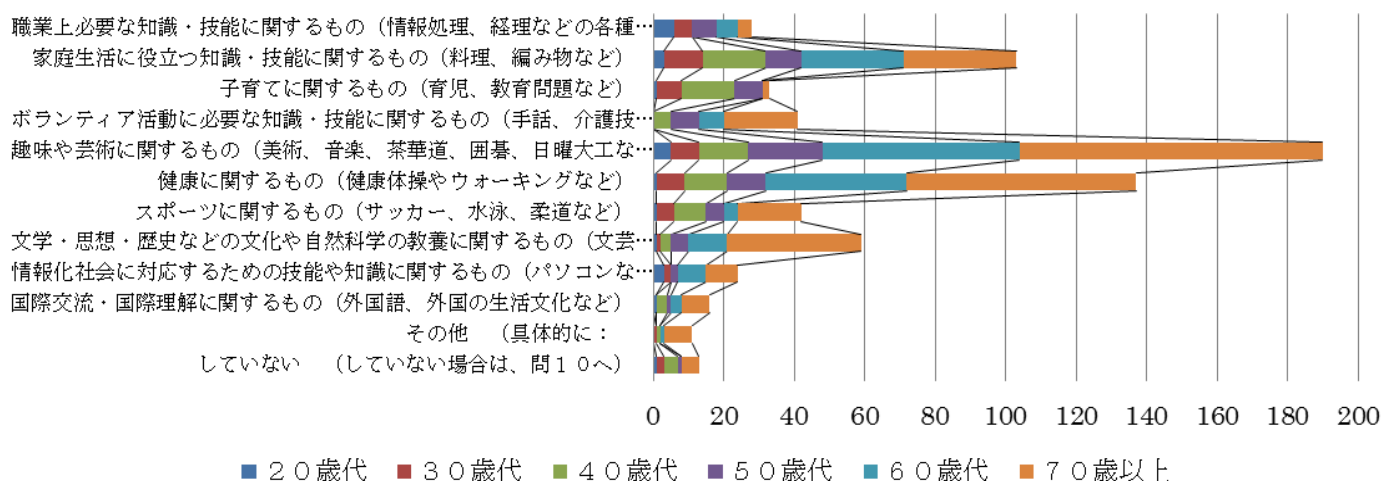
実数での比較表



郵送での回答者数では、「していない」が133人、「健康に関するもの」が129人である。公民館等利用者では、「趣味や芸術に関するもの」が190人、次いで「健康に関するもの」が137人である。郵送での回答では、「職業上必要な知識・技能に関するもの」が89人であり、公民館等利用者の28人と比べ、関心が高い。生涯学習をしていない層への取り込みのために、有効な分野であると思われる。

### 公民館等利用者

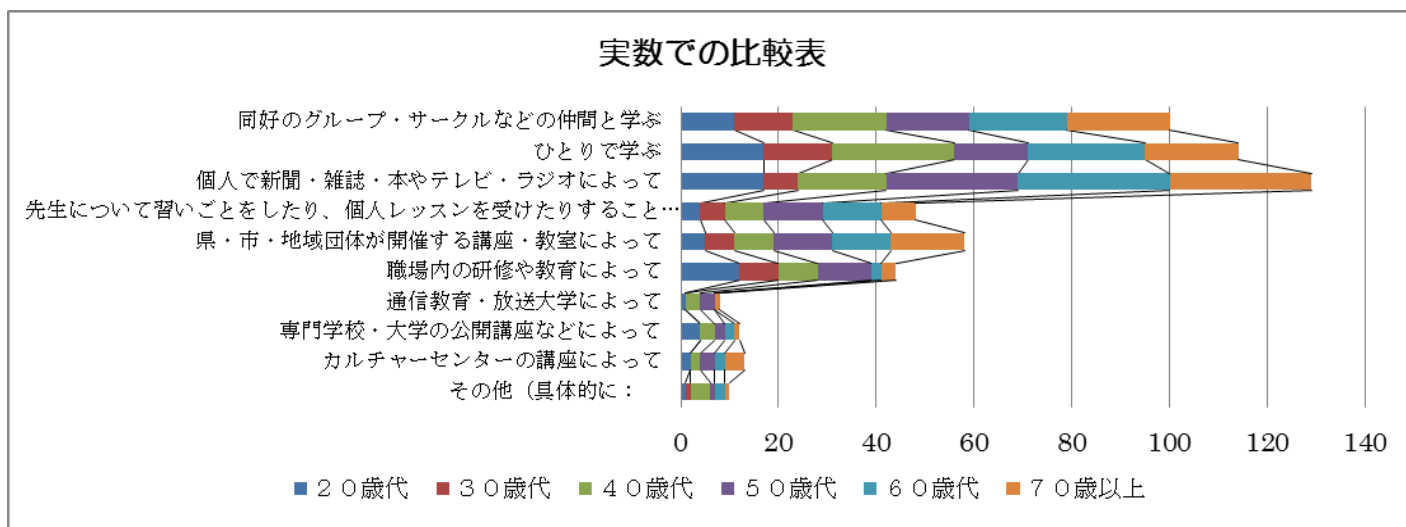
実数での比較表



その他（具体的に）日本経済のゆくえ 畑での野菜作り 犬の散歩 会社の経営に関する学び  
リハビリ（運動機能回復）農業 裁判所・議会の傍聴 自治会活動執行部として行事参加

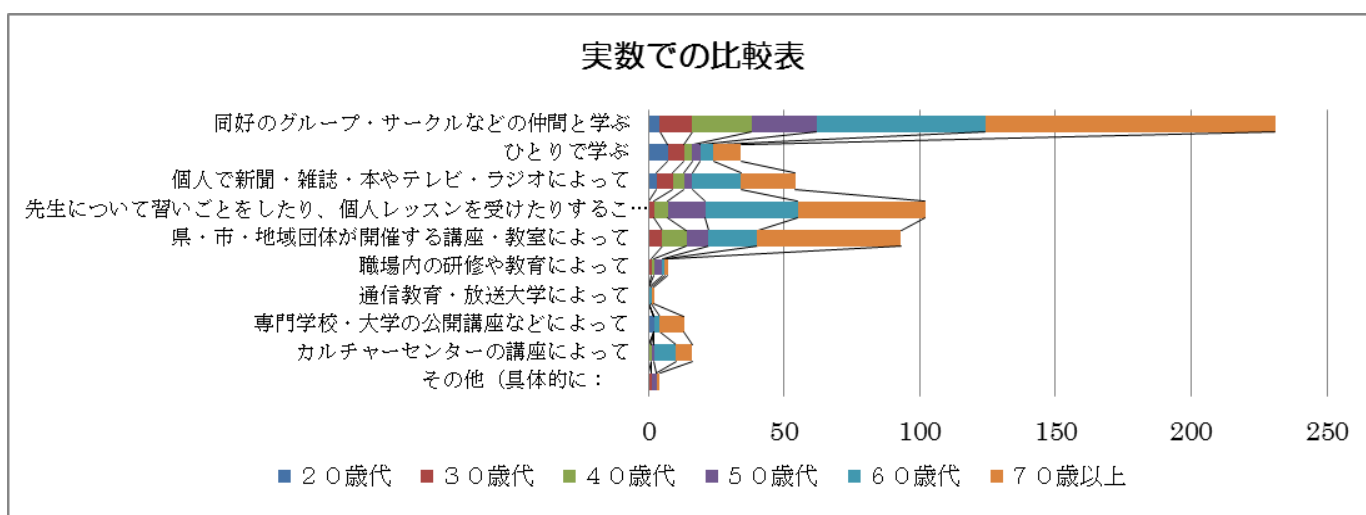
## 問6 あなたは、どのような方法や形態で生涯学習を行っていますか。

### 郵送



郵送での回答者数では、「個人で新聞・雑誌・本やテレビ・ラジオによって」が129人、次いで「ひとりで学ぶ」が114人である。公民館等利用者は、「同行のグループ・サークルなどの仲間と学ぶ」が231人で群を抜いて多く、次いで「先生について習いごとをしたり、個人レッスンを受けたりすることによって」が102人である。郵送での回答者は、グループよりもひとりで学習を行っていることがうかがえる。

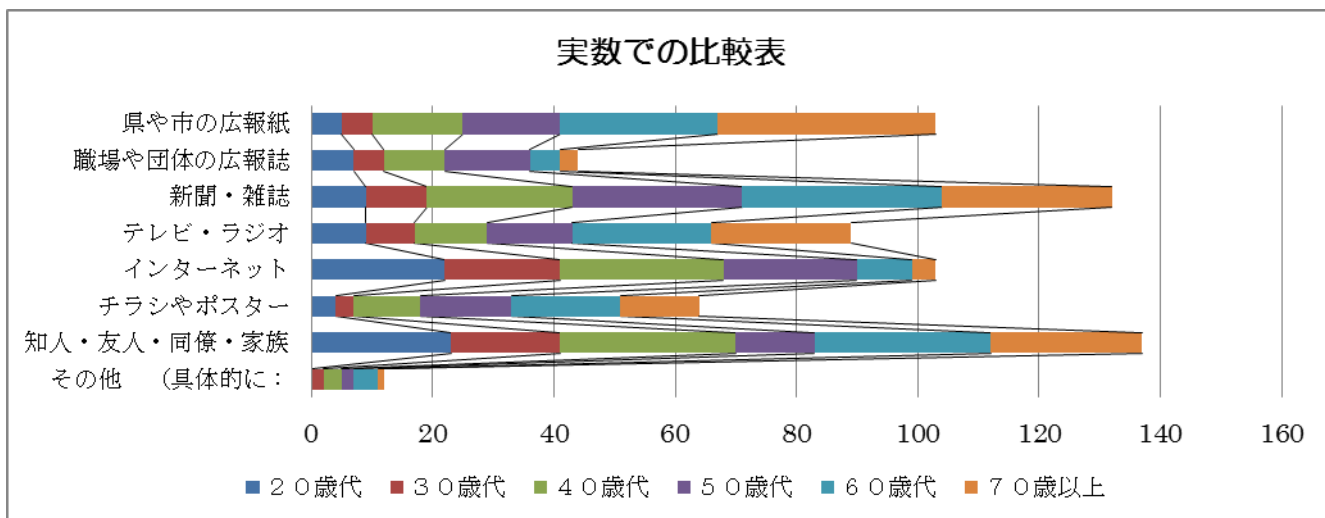
### 公民館等利用者



**その他（具体的に）** 地域の先輩から 碁会所 専門機関の講習会 職場外の研修会・講演会によって  
友人との情報交換 インターネット 私設のパソコン教室 国語の勉強・心理学 職業訓練 カフェや  
野外のイベントの開催 ボーイスカウト活動 スポーツジム 図書館

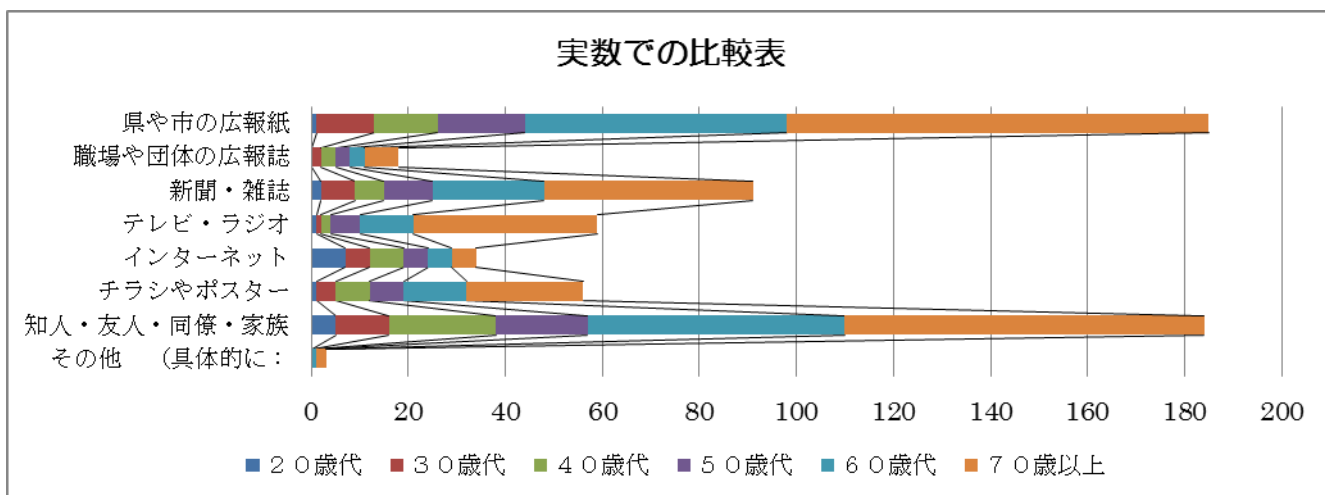
問7 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。

郵送



郵送での回答で多いのは、「知人・友人・同僚・家族」が137人、次いで「新聞・雑誌」が132人、「県や市の広報紙」・「インターネット」が103人の順である。公民館等利用者は、「県や市の広報紙」が185人、「知人・友人・同僚・家族」が184人、「新聞・雑誌」が91人と順位に差はあるものの、上位3位までの媒体に変化はない。

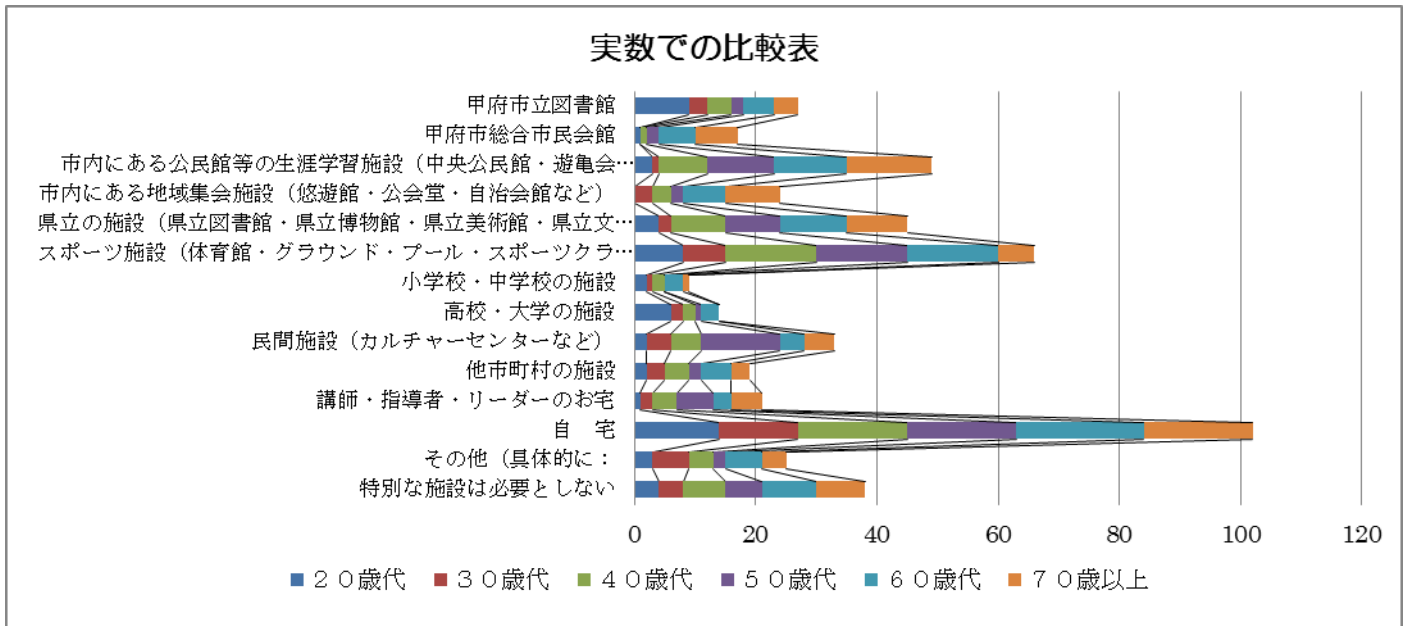
公民館等利用者



その他（具体的に）地域の文化協会 図書館・書店 公民館のパンフレット ボランティアボード  
市内にある大学内の掲示板 自治会の回覧 ハローワーク 専門書 カフェや野外イベント開催の際

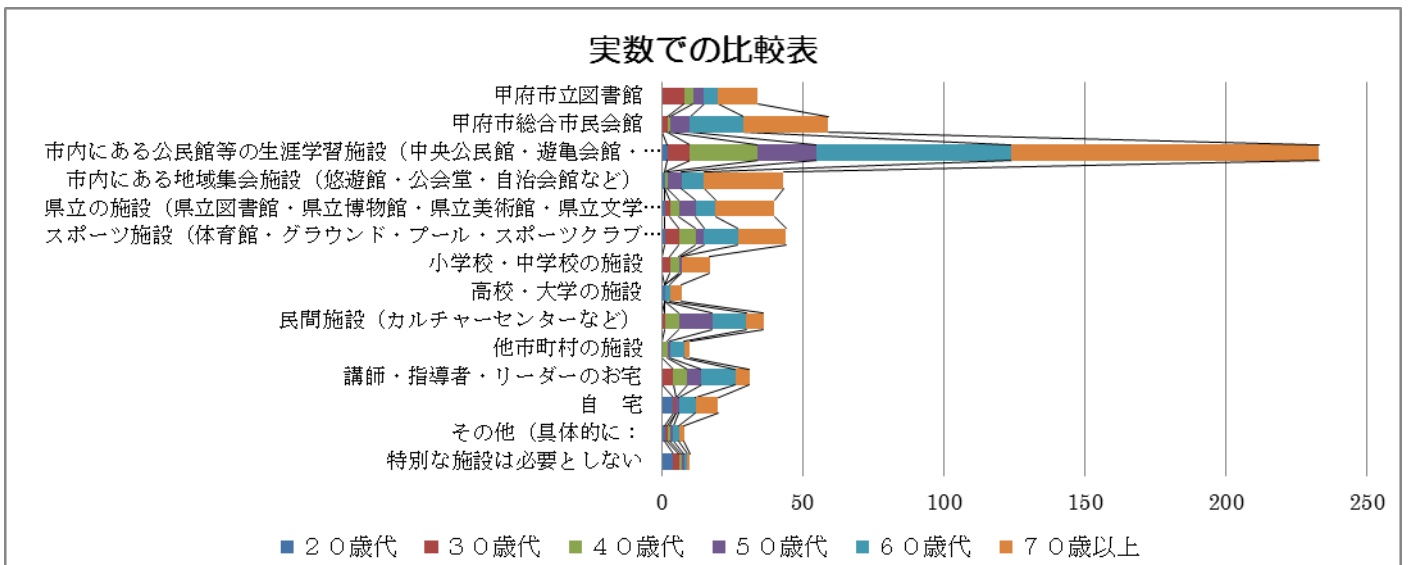
問8 あなたが、主に生涯学習を行っている場所はどこですか。

郵送



郵送での回答者数は、「自宅」が102人と最も多く、次いで「スポーツ施設」が66人である。公民館等利用者では、「市内にある公民館等の生涯学習施設」が233人と群を抜いて多い。問7において、郵送での回答者にインターネット利用者が多いことを考慮すると、自宅のできるインターネット学習等の機会の提供も検討の余地がある。

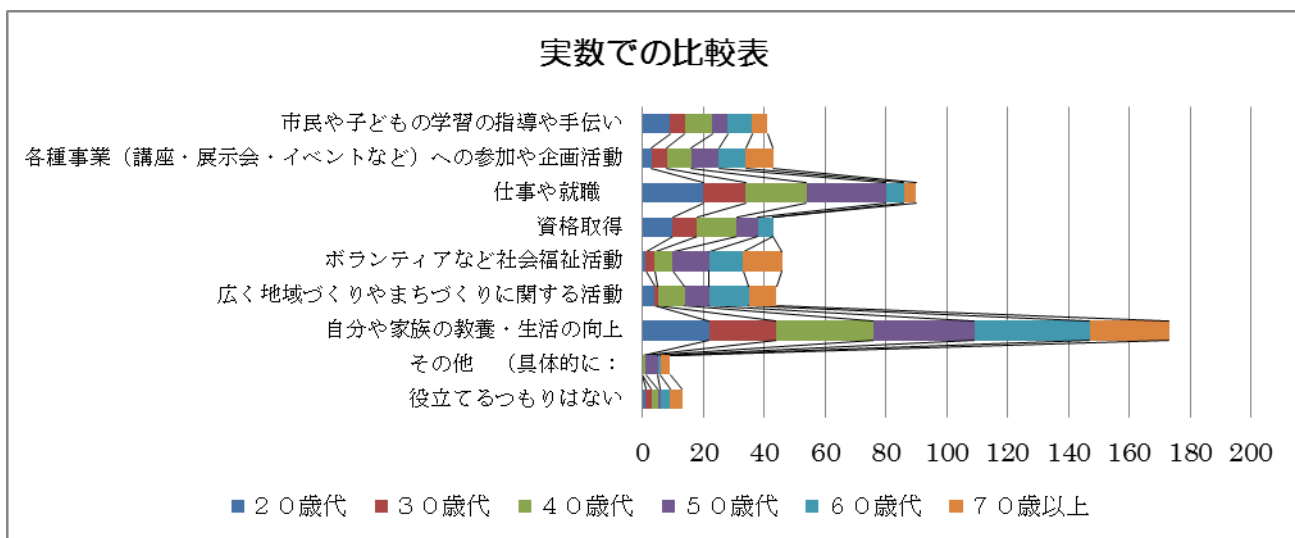
公民館等利用者



その他 (具体的に) 庭 畑 特別養護老人ホーム 甲府法人会館 茶店等 各種研修会 講演会会場  
 保育園・幼稚園 音楽スタジオ 職場 カフェや野外イベント会場 生涯学習センター (飯田のJA会館)  
 近所をウォーキング 小瀬スポーツセンター 武道館 県外の大学施設 国内外の旅行先

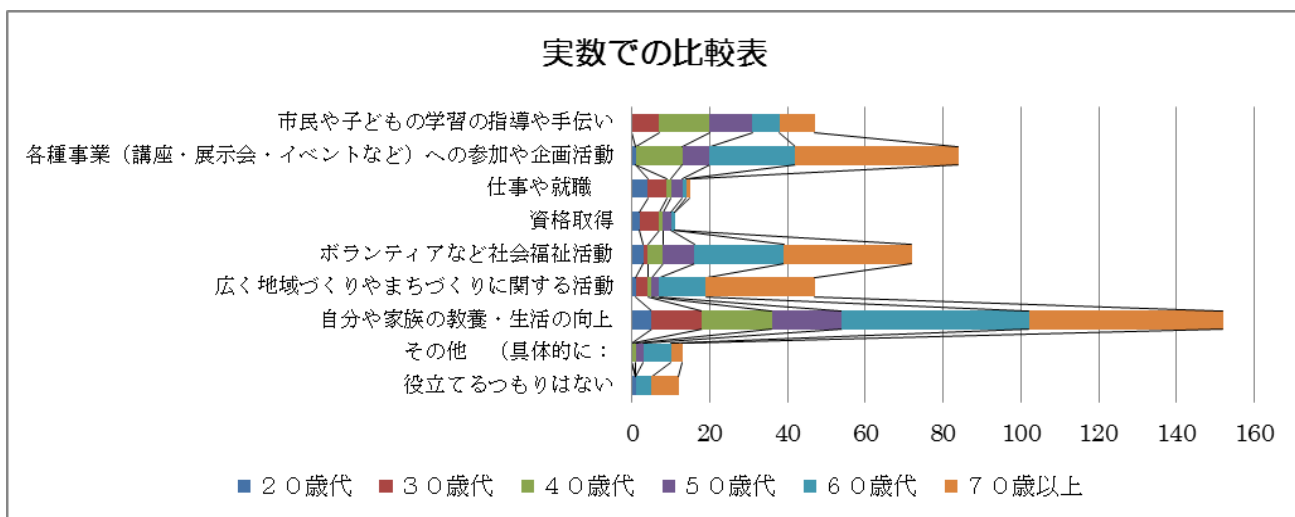
問9 あなたは、生涯学習で学んだことをどのようなことに役立てたいと思いますか。

郵送



郵送・公民館等利用者の回答者数ともに最も多いのは、「自分や家族の教養・生活の向上」（郵送173人・公民館等利用者152人）である。次いで郵送では、「仕事や就職」が90人であるのに対し、公民館等利用者は、「各種事業への参加や企画活動」が84人、「ボランティアなど社会福祉活動」が72人であり、社会貢献に役立てたいと考えていることがうかがえる。

公民館等利用者

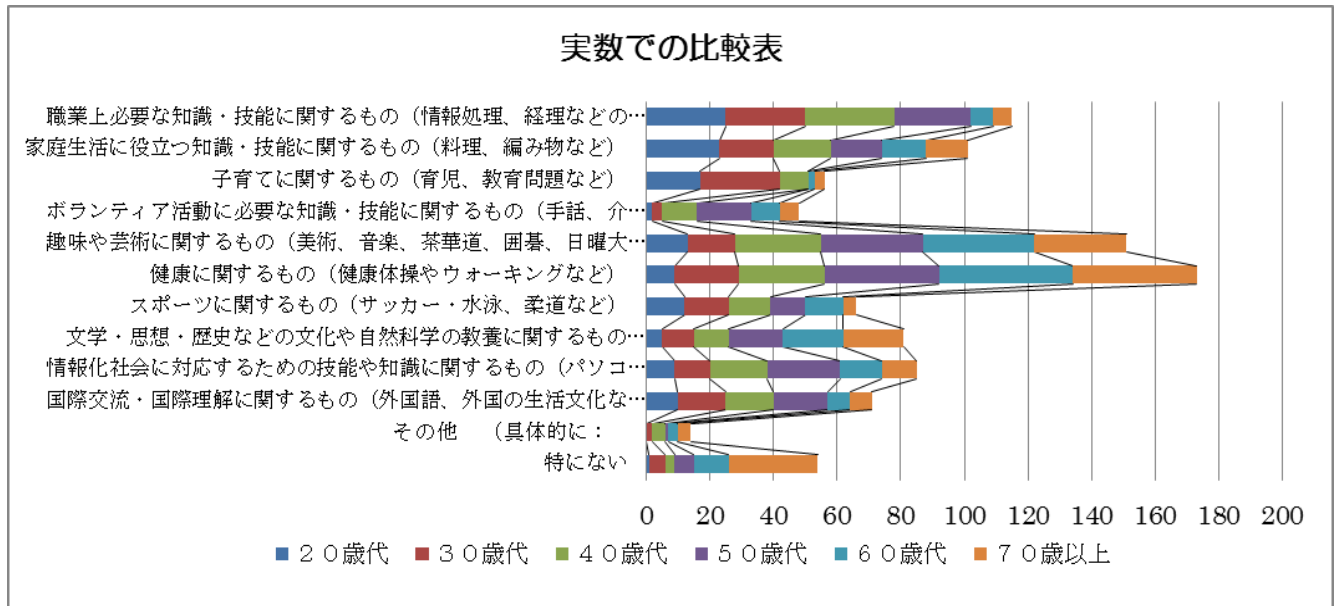


**その他（具体的に）** 老後の楽しみのため 老後の生きがいのため 体力をつけるため 健康のため  
 自分の趣味として もう少し老人になった時に、家族に面倒をなるべくかけないですむように お役に立  
 てるようになるため 仲間との交流 健康維持 人との交流 認知症防止 老化防止 生涯において自分の  
 向上のため 心の糧として 自分自身のため 自分の身体のため 健康でケガがなく暮らせるように



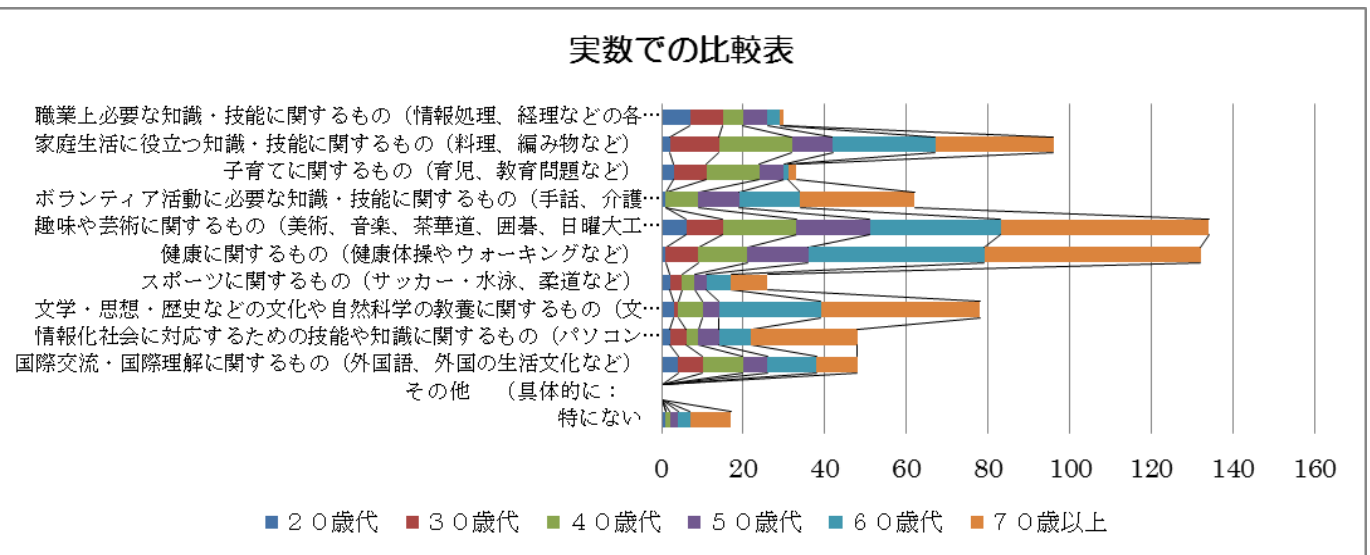
問 10 あなたは、今後どのようなことを学びたいと思いますか。

郵 送



郵送での回答者数では、「健康に関するもの」が173人、次いで「趣味や芸術に関するもの」が151人である。公民館等利用者では、「趣味や芸術に関するもの」が134人、「健康に関するもの」が132人である。郵送・公民館等利用者とも、現在行っている生涯学習活動の種類を聞いた問5の結果と相違がない。

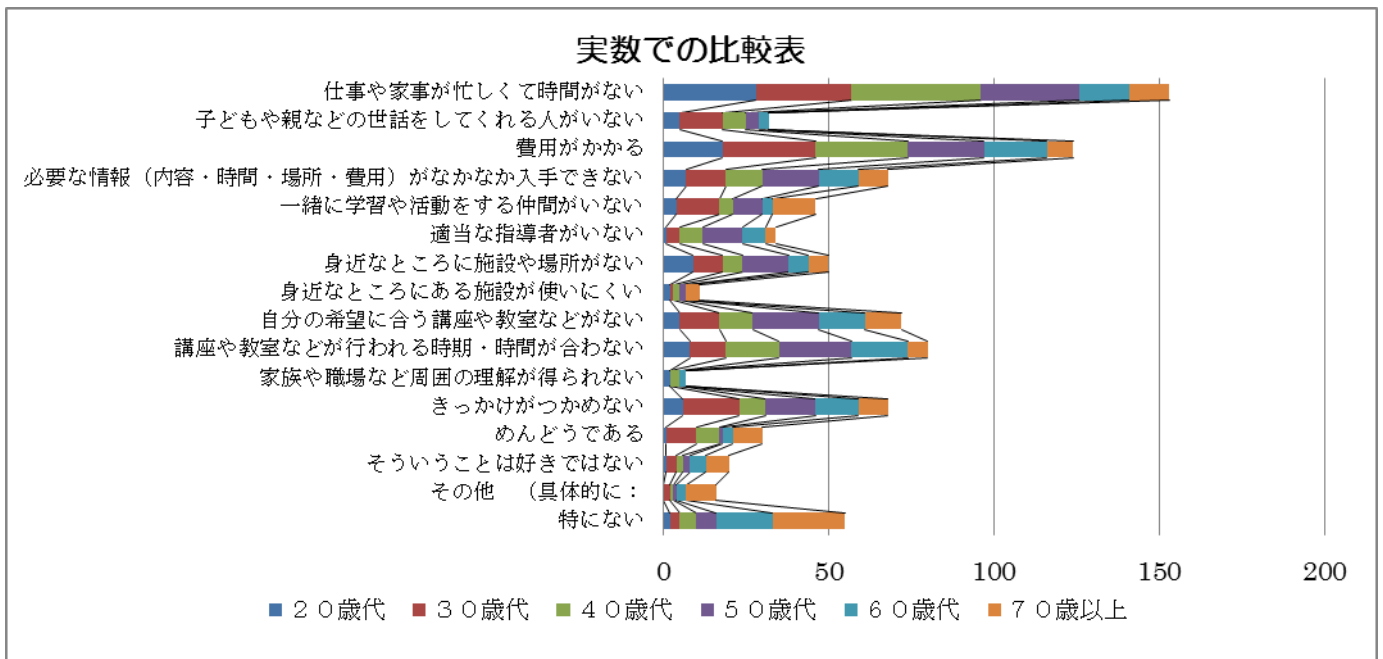
公民館等利用者



**その他（具体的に）** 思想や良心的な事 家庭での野菜・果樹・庭木・花木の手入れなど ストレスと社会（コーチング・カウンセリング） より安全でおいしい作物の作り方 高齢者の死の迎え方 国家の中・長期進路計画 国家の進むべき道標【例】 道徳・教育・目標等、貧困や精神保健福祉など社会事業に関わること 街づくり 地元商店街再生 地域防災について先進的な取り組み 世界経済の変化と日本・中国の考え方 陶芸 着物の着付け 収納術 インターネット講座

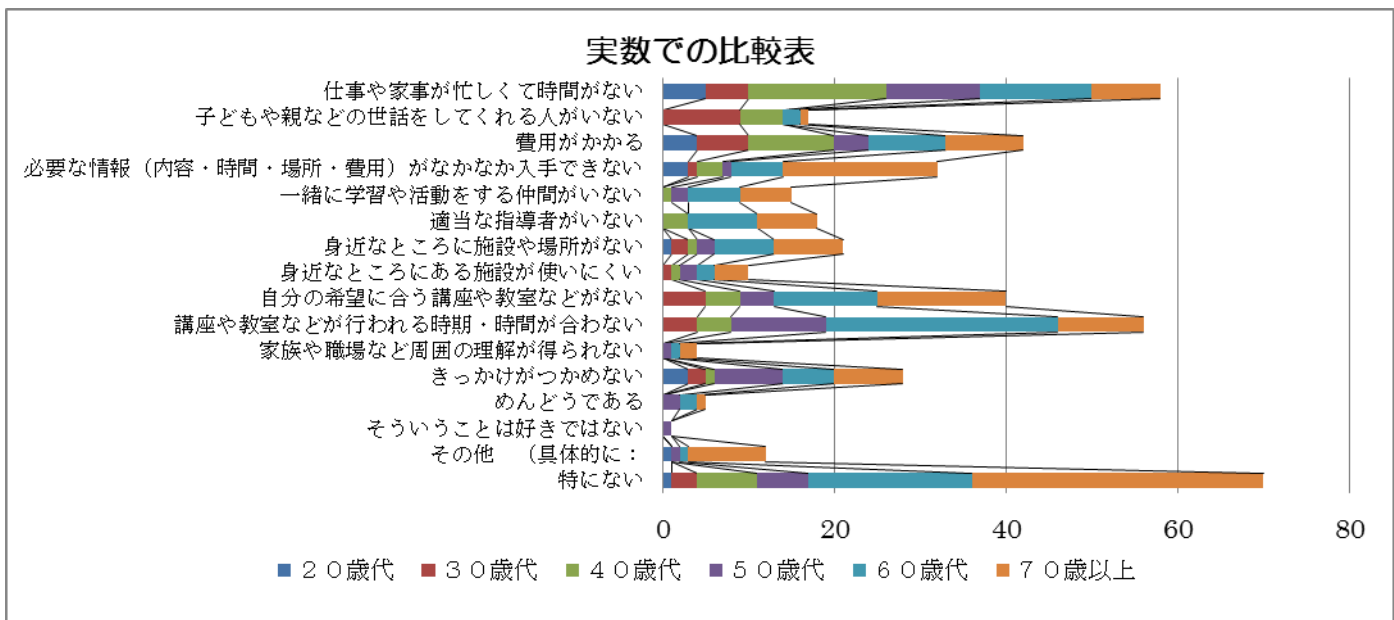
問 11 あなたが、生涯学習に取り組もうとする際、どのようなことがさまたげになっていますか。

郵 送



郵送では、「仕事や家事が忙しくて時間がない」が153人で、「費用がかかる」が124人である。公民館等利用者では、「特にない」が70人、「仕事や家事が忙しくて時間がない」が58人である。生涯学習のさまたげの要因として、時間の確保が難しいことがうかがえる。

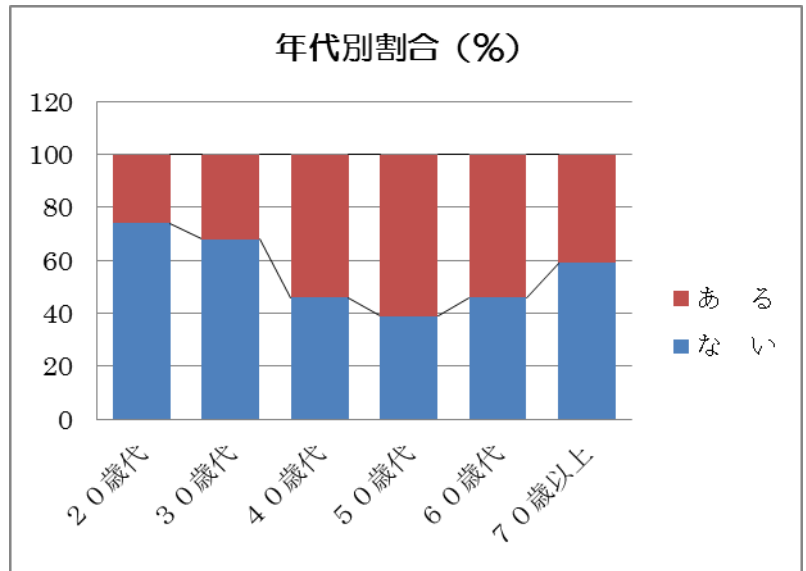
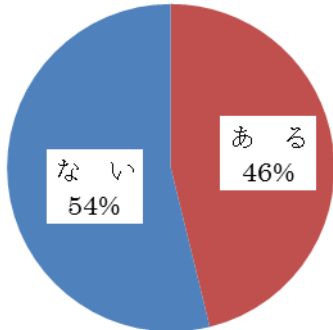
公民館等利用者



**その他（具体的に）** 家で気楽に取り組むのが好き。健康上の問題。交通手段がない。家庭の事情で決まった時間が作れない。レベルの高いセミナーはそれなりの費用が必要だが、安いものはそれなりの質になるので受ける気にならない。親の介護。孤立している。身近な施設では学びたい講座がない。現在の学習に満足している。駐車場の問題。ボランティア活動をしているので時間がない。身につけた教養もないので。孫のめんどろをみている。年齢的に困難。自分の集中力が持続するかどうか不安。自主グループの際、希望する日に会議室が確保できない。

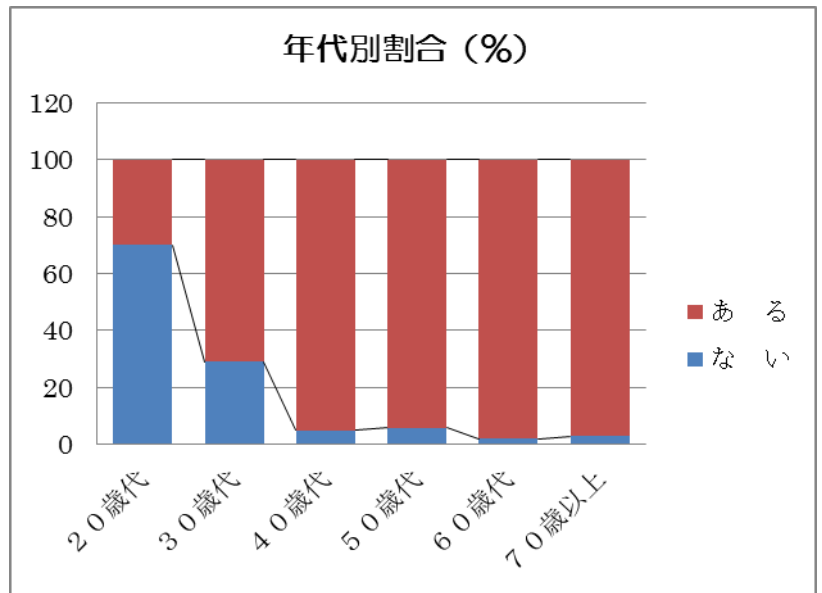
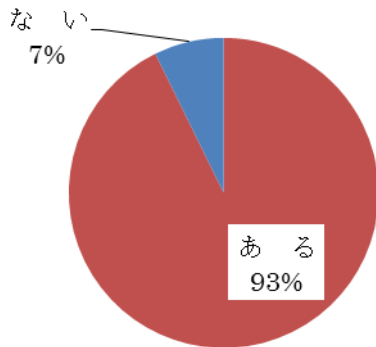
問 12 あなたは、これまでに公民館・社会教育センターを利用したことがありますか。

郵 送



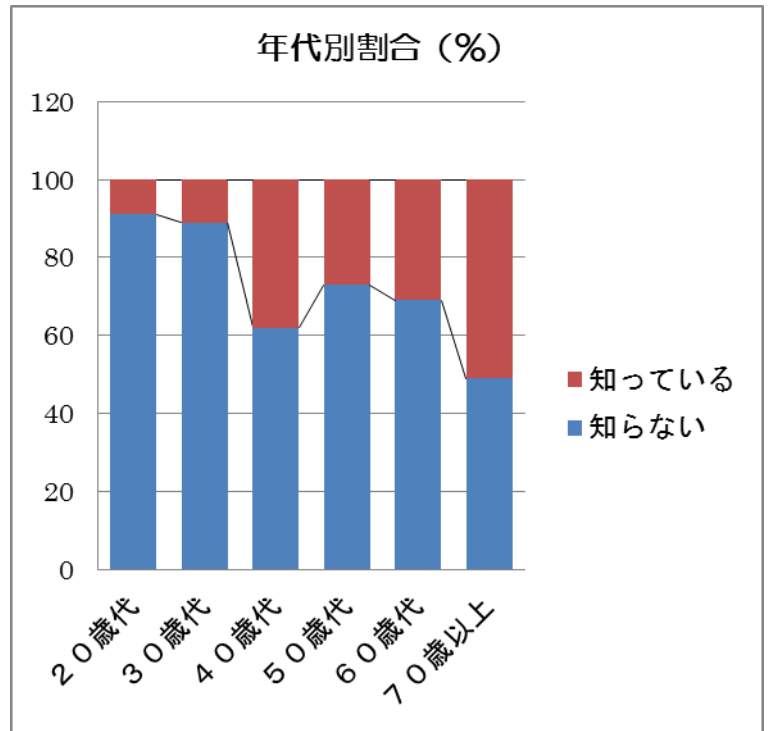
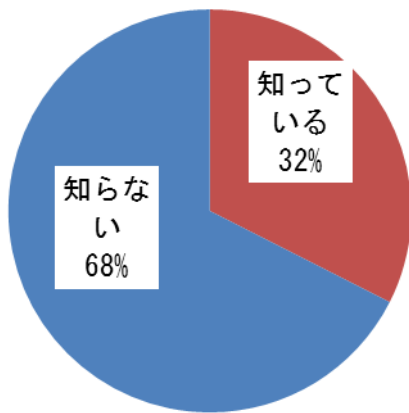
利用状況については、郵送での回答者では、「ない」が54%であるのに対し、公民館等利用者では、「ある」が93%であった。

公民館等利用者



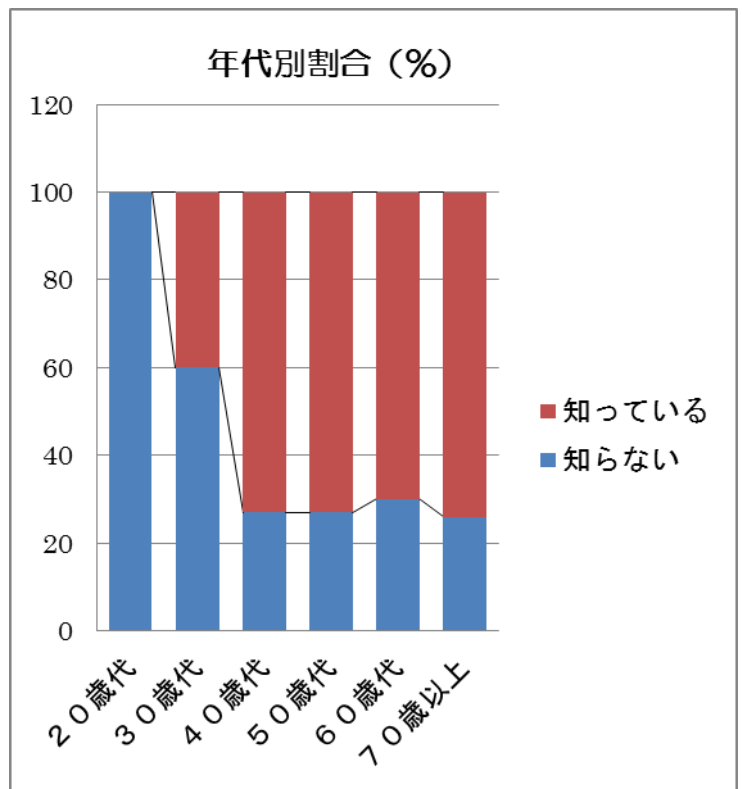
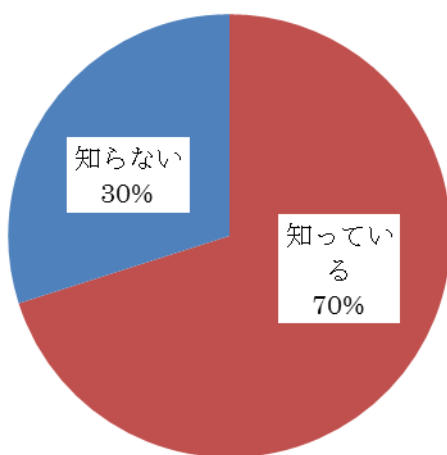
問 13 あなたは、公民館使用料の減免制度をご存知ですか。

郵 送



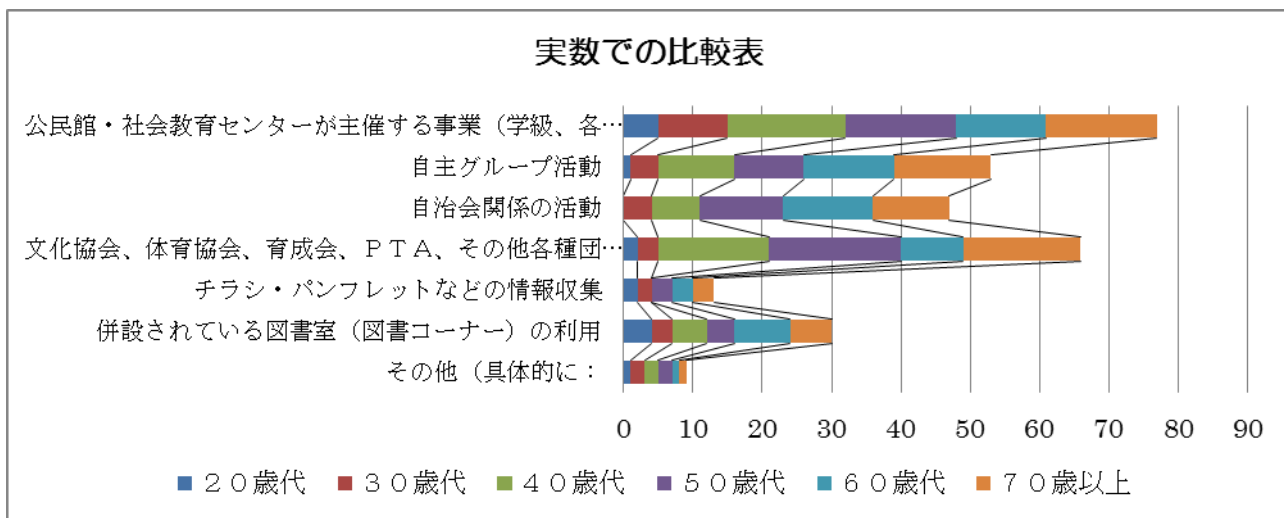
減免制度については、郵送での回答者で68%が「知らない」と答えているのに対し、公民館等利用者では、ほぼ同率の70%が「知っている」と答えている。特に若年層では、知らない割合が高くなっている。

公民館等利用者



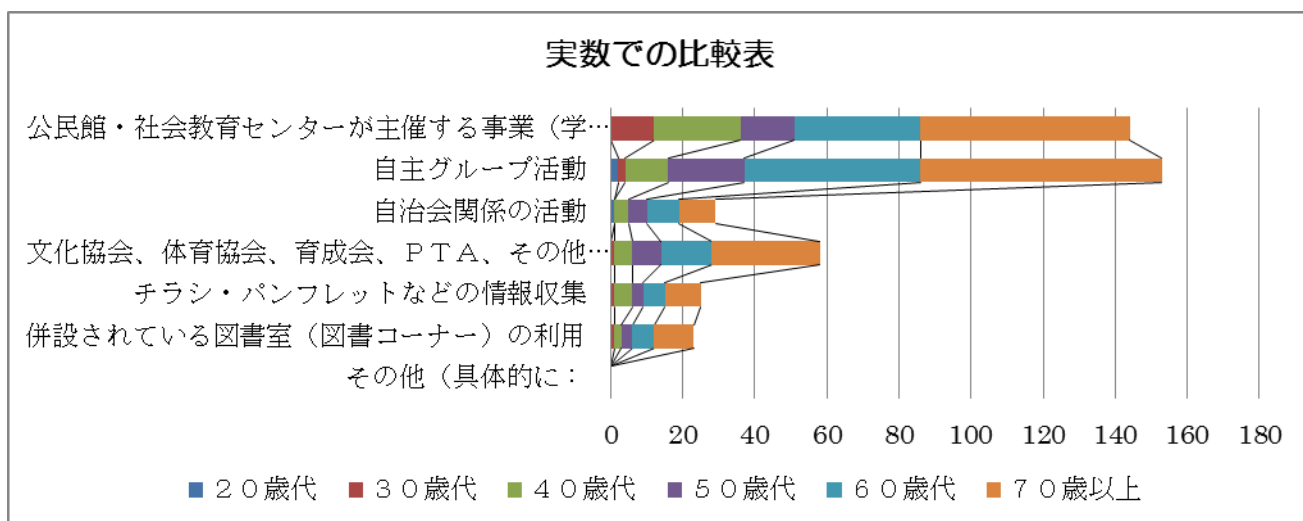
問 14 公民館・社会教育センターを利用するのは、次のどの内容ですか。

郵 送



郵送での回答者数では、「公民館・社会教育センターが主催する事業」が77人、「文化協会、体育協会、育成会、PTA、その他各種団体の活動」が66人、「自主グループ活動」が53人であった。公民館等の利用者では、「自主グループ活動」が153人、「公民館・社会教育センターが主催する事業」が144人、「文化協会、体育協会、育成会、PTA、その他各種団体の活動」が58人と上位の内容にあまり変化は見られなかった。

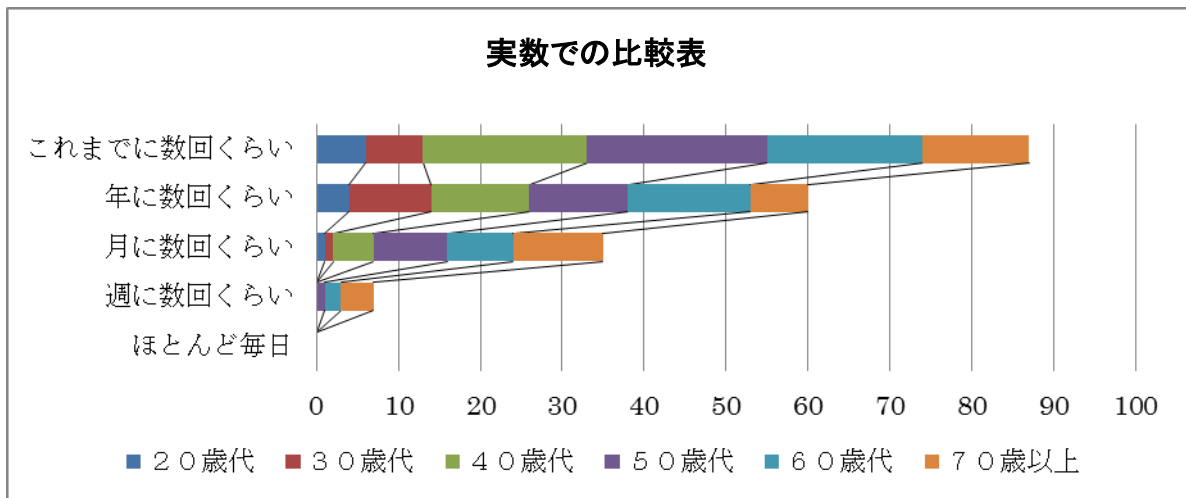
公民館等利用者



その他 (具体的に) 住民票などをもらいに 自治会活動として利用 幼稚園の発表会 検診  
公民館は高齢者が集まり、活動する場所だと認識している。一般人は利用を懸念する。

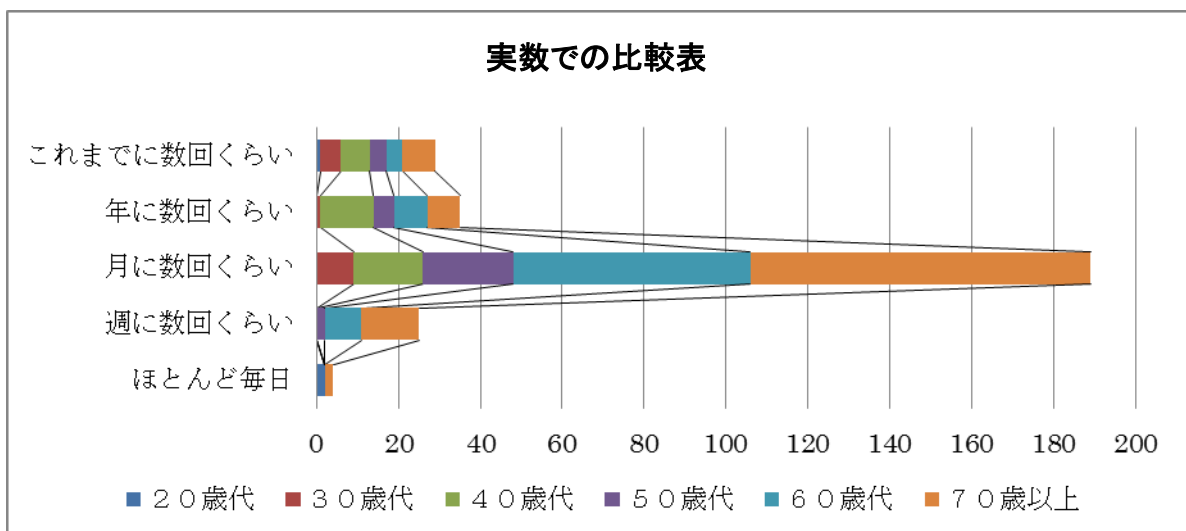
問 15 公民館、社会教育センターを、どのくらいの回数で利用していますか。

郵 送



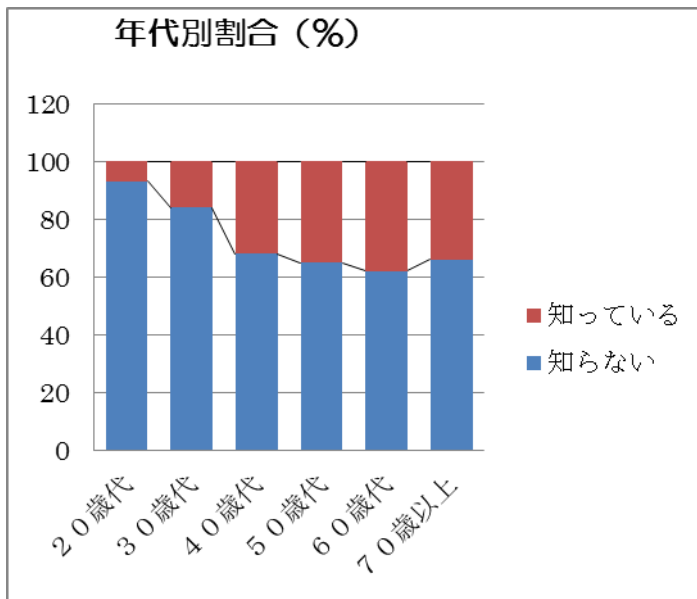
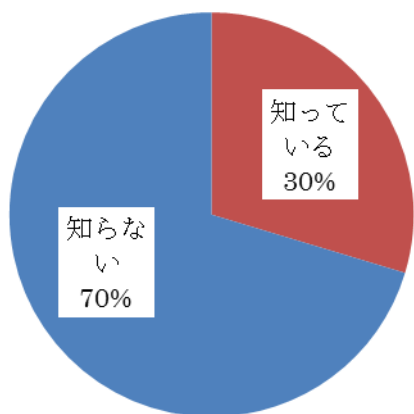
利用回数については、郵送での回答者で最も多いのが「これまで回数くらい」が87人と最も多く、次いで「年回数くらい」が60人である。公民館等利用者は、「月に回数くらい」が189人、次いで「年に回数くらい」が35人である。

公民館等利用者



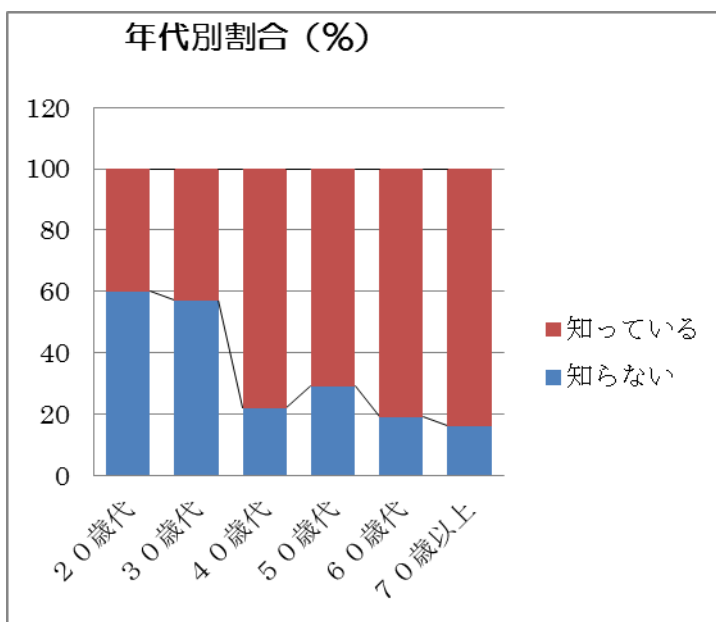
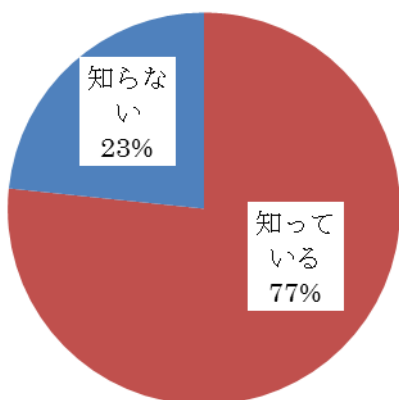
問 16 あなたは、公民館・社会教育センターの予約方法・利用方法を知っていますか。

郵送



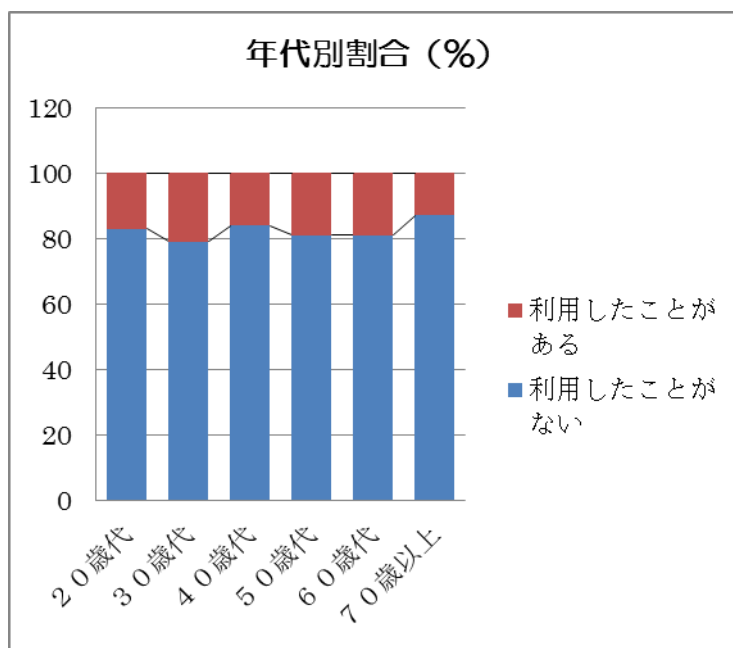
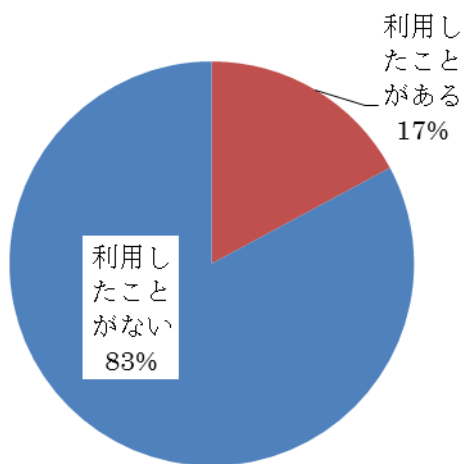
予約方法・利用方法については、郵送での回答者で70%が「知らない」と答えているのに対し、公民館等利用者では、ほぼ同率の77%が「知っている」と答えている。

公民館等利用者



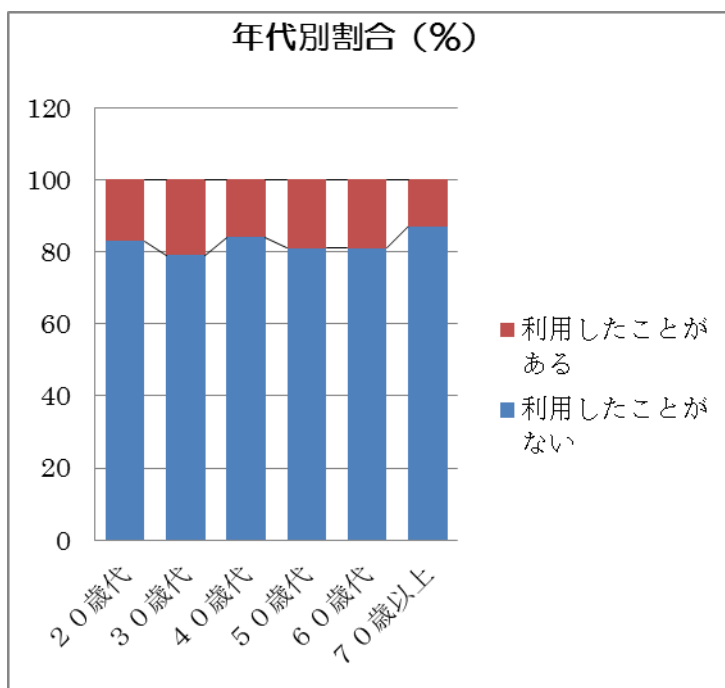
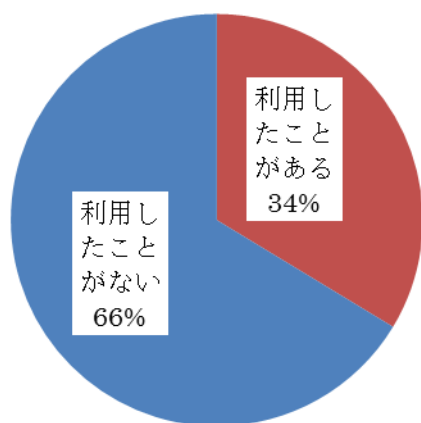
問 17 あなたは、公民館に併設されている図書室（図書コーナー）を利用したことがありますか。

郵 送



図書室の利用状況については、郵送・公民館等利用者とも「利用したことがない」が過半数を超えている（郵送 83%・公民館等利用者 66%）。

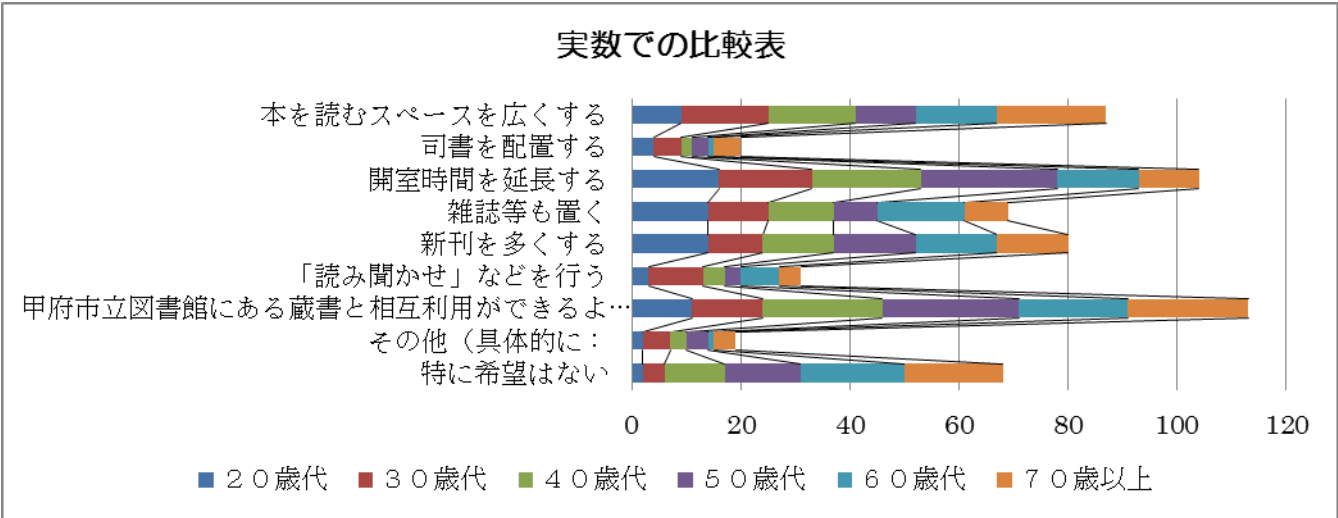
公民館等利用者





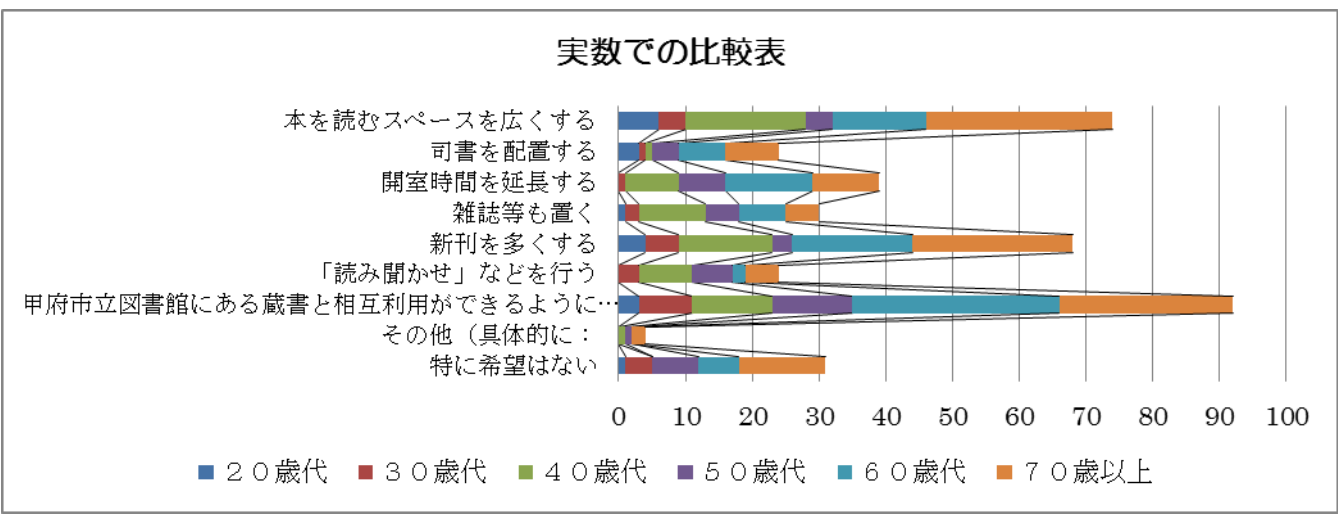
問 18 公民館図書室を整備する場合、どのような機能を重視すべきだと思いますか。

郵 送



郵送での回答者数は、「甲府市立図書館にある蔵書と相互利用ができるようにする」が113人、「開館時間を延長する」が104人、「本を読むスペースを広くする」が87人である。公民館等利用者は、「甲府市立図書館にある蔵書と相互利用ができるようにする」が92人、「本を読むスペースを広くする」が74人、「新刊を多くする」が68人である。市立図書館との相互利用・スペースの拡大への希望が多い。

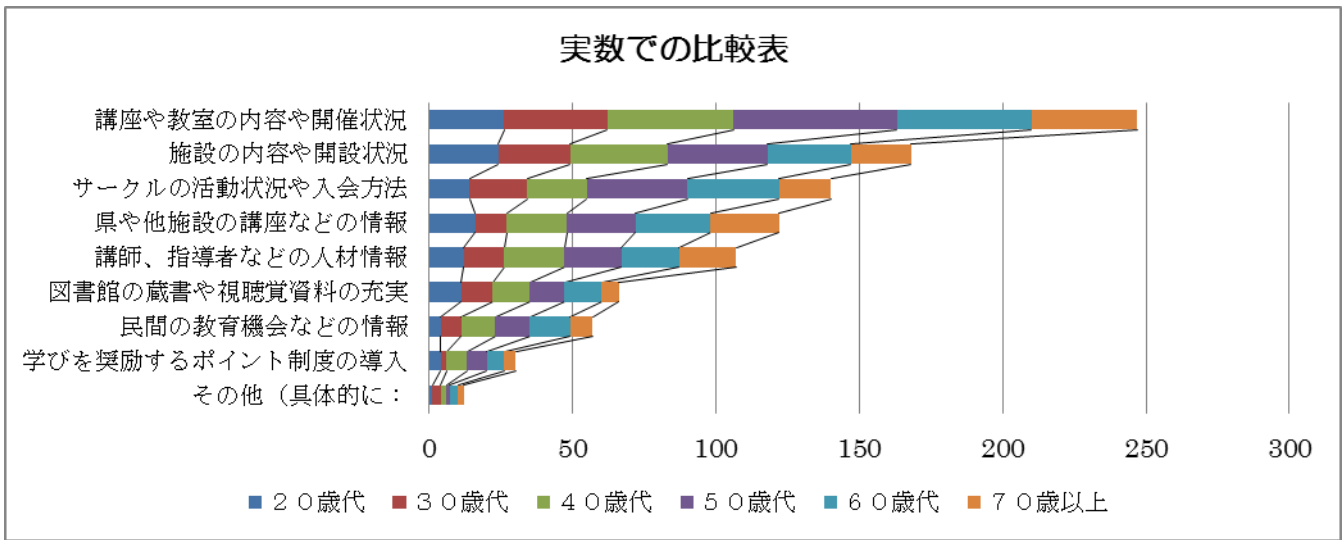
公民館等利用者



**その他** 勉強専用部屋の設置（エアコン完備）。一般蔵書は市立図書館に集約し、雑誌や地図、その地区の広報等を置けばよい。交通の便が悪い。食事ができるスペース（食堂）が欲しい。病床中につき研究の参考資料等の電送依頼ができるようにしてほしい。貸し出しカードが記入する形式で時間がかかる。返却したはずの本がまだ返却していないと言われ、図書室に行ってみたら棚に置いてあった。職員が図書業務を把握している？駐車スペースを広くしてほしい。利用したい日時に使用できない。返却ボックスも設置してほしい。子供向けの良書が充実すると親子で利用できる。不要になった本の寄贈を受ける。家族で行けるような雰囲気にしてほしい。学習スペースの設置。蔵書を多くする。県内作家、市内作家の作品を置く。検索ができるようにしてほしい。問いの選択肢すべてが充実しないと図書室として機能しないと思う。

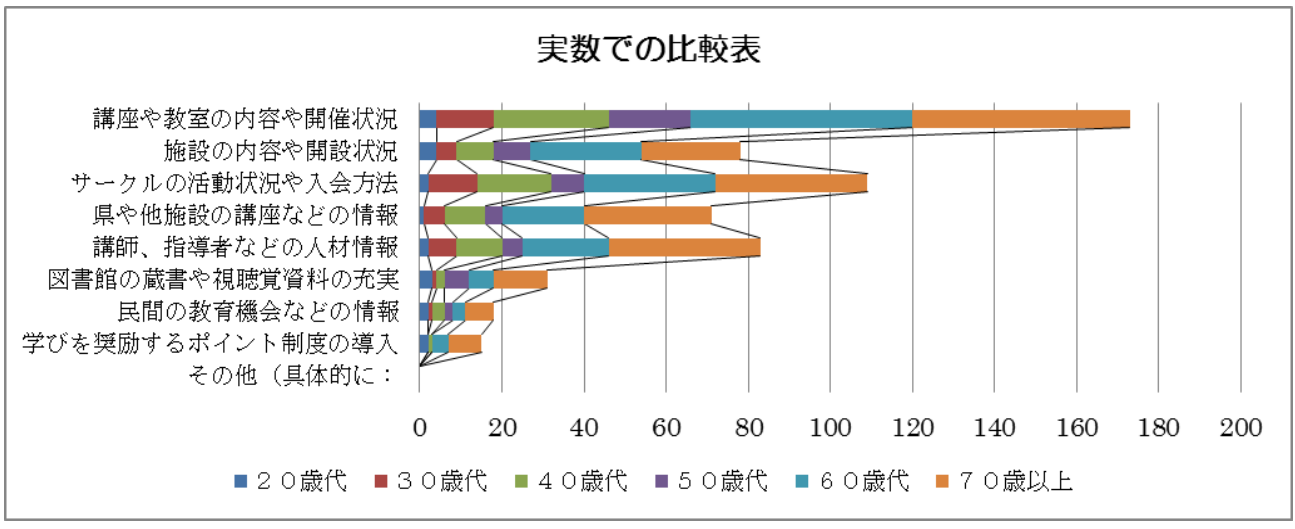
問19 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような内容の情報発信などが必要だと思いますか。

郵送



郵送・公民館等利用者とも「講座や教室の内容や開催状況」（郵送 247人・公民館等利用者 173人）を必要とする回答が最も多い。

公民館等利用者



**その他（具体的に）** 高齢者はよくテレビを見るので、主催講座などのテレビCMを流す。そもそも生涯学習をもっと盛んにしていく必要があるのでしょうか。インターネットの活用。口コミ。費用のかからない方法。最初は情報だけを頼りに選ぶのだから、分かりやすく、安心して1人でも参加できるような情報を発信して欲しい。